

# 授業でも！ つかえる **ちゃぐりん**

VOL.109



◇記事名：『ちゃぐりん』2022年5月号28～34ページ

**あっぱれおもしろやさい塾**

◇対象：生活科(2年生)・理科/社会科(5年生)

文・藤本勇二 (武庫川女子大学 准教授)

「あっぱれおもしろやさい塾」の記事では、バターナッツカボチャが取り上げられています。  
生活科や理科、社会科で取り上げられるヒントを紹介します。

## 1:バターナッツカボチャを育てよう (2年生 生活科 栽培)

生活科では、子どもたちの「〇〇したい」「▽▽をやってみたい」を引き出すことがポイントです。

「日本でよく売っているカボチャとずいぶんちがう」「すべすべしている」「ナッツの味がする」という『ちゃぐりん』の記事がそのまま、子どもの「バターナッツカボチャを育てたい」という気持ちを高めてくれます。

『ちゃぐりん』の記事を紹介し、育て方についても記事をもとに見通しをもって取り組むといいでしょう。学習指導要領にある、生活科内容(7)「植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。」を、バターナッツカボチャを育てる活動を通じて実現できます。

## 2:人工授粉 (5年生 理科 花から実へ/社会科 食料生産)

国際調査において日本の児童は、理科で学んだことが社会で役立つと考える児童が、諸外国に比べて少ないことが明らかになっています。作物が実をむすぶ際にミツバチが果たす役割に加えて、ハチやハエなどが受粉してくれる環境にない場合は、人の手で手伝いをする人工授粉を紹介し、社会科の学習へつなげます。

まず小学校5年生の理科では「花から実へ」の学習では、「花粉がめしべの先につくことを受粉」と学習します。教科書ではカボチャやヘチマが大きな単性花を付けることから、受粉と結実の関係を学習する教材として用いられています。

理科の時間の発展、そして社会科「食料生産」の学習へとつなぐ時間として、人工授粉の仕事を簡単に紹介します。イチゴの花が咲くころにミツバチの巣箱をおき、ミツバチを放していることを取り上げて、ミツバチの役割(自然界の受粉は、ミツバチなどの虫が花粉を雌しべに運ぶ)について取り上げている教科書もあります。また、以下のJ Aぎふのサイトの記事なども、理科での学びが役立つことを示す事例となるでしょう。

(参考：<https://www.jagifu.or.jp/wp/archives/12360>)

## 3:いろいろなカボチャ (5年生 社会科 これからの農業)

『ちゃぐりん』の記事を紹介します。よく目にするカボチャと違う点を取り上げます。事前に用意していた鹿ヶ谷かぼちゃ(京都府)、黒皮かぼちゃ(宮崎県)の写真を紹介するといろいろなカボチャがあるかもしれないという思いを持ちます。そこで、J Aおきなわの(<https://www.ja-okinawa.or.jp/agriculture/detail.php?id=907>)を見ます。「大きく分けて「日本カボチャ」「西洋カボチャ」「ペポカボチャ」の3種類。沖縄県で主に栽培されている「えびす」は西洋カボチャに分類されます。」とあります。

自分の地域で栽培されているかぼちゃが3種類のうちどれにあたるかを調べます。さらに伝統野菜で地域を元気づける取り組みを紹介し、これからの農業の可能性を考える機会にします。



JAグループの食農教育を  
すすめる子ども雑誌

Child Agriculture Green

子どもたちに伝えたい!

2022年6月号

# ちゃぐりん おすすめ記事

## ごくごく飲める 梅ジュース

掲載ページ:P12-15



今月号の「食&農特集」は、旬の梅を使って作る梅ジュース。基本となる梅シロップは、いろいろなおやつとの相性もバッチリ。ビンの中で梅と砂糖が変化していく様子にも注目です。さわやかなジュースにしても楽しめます。簡単に作れるおやつも紹介していますので、ぜひご覧ください。

## 未来の農業を見てみよう!

掲載ページ:P18-21



特別企画のテーマは未来の農業。ドローンやロボット、AI(人工知能)の技術が進化した未来の農業の姿をさぐります。実現に向けてすでに実施されている事例も紹介しています。食料不足を救い、持続可能な農業につながるかもしれないアイデアに注目です。

## 小島よしおの研究室へGO!GO!

掲載ページ:P22-25



「食育」ってなんなんだ…? 小島よしおさんが「食と農」の博物館を探検しながら、食育の歴史や身近にできる食育について館長の上岡先生からお話をうかがいます。農水省が作った食育ピクトグラム12のテーマは、日々の生活でも取り組めるものです。ぜひ心がけてみてください。

## いのちの歴史 北里柴三郎

掲載ページ:P115-126



2024年発行の新千円札の肖像に採用された北里柴三郎。近代日本医学の基礎をきずき、感染症予防と治療に生涯をささげた人生でした。彼が発見した治療法は、多くの人の命を救いました。不可能といわれた技術を成功させた柴三郎の生い立ちはどんなものだったのでしょうか。

### ★ 配信中のコンテンツ ★

#### 「ちゃぐりん」食農クイズ

毎月の『ちゃぐりん』の中から、食や農にまつわるクイズを10問出題しています。



#### 食農教育紙芝居

紙芝居コンクール入選作品の紹介や、小島よしおさん演じる紙芝居の動画が見られます。



7月号予告 ペろっと完食! 焼きトウモロコシ・・・焼きトウモロコシの味を決めるたれの作り方をご紹介。

JAグループ (一社) 家の光協会